

船舶インシデント調査報告書

令和2年11月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	令和2年6月18日 10時20分ごろ
発生場所	愛知県美浜町河和港東方沖 河和港中防波堤灯台から真方位079° 2.2海里付近 （概位 北緯34° 47.1′ 東経136° 57.7′）
インシデントの概要	プレジャーボートWOODY ROCKは、航行中、船外機の運転ができなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和2年6月24日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート WOODY ROCK、5トン未満（長さ8.05m） 252-20109愛知、個人所有 ガソリン機関（船外機）、4サイクル、出力147.10kW、回転 数毎分6,000、6気筒、ボア94mm、使用燃料ガソリン
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 雨、風向 東南東、風力 4、視界 良好 海象：波高 約1.0m
インシデントの経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人2人を乗せ、美浜町南方沖で釣り場を移動しながら釣りを行った後、帰航する目的で北進中、突然船外機が停止し、再起動できなくなった。</p> <p>本船は、船長が、原因を調査したが特定できず、航行不能と判断して近くのマリーナに電話をしたが繋がらず、118番通報を行い、救助を要請し、間もなく来援した巡視艇にえい航された。</p> <p>機関修理業者は、本インシデント後、燃料タンク内の燃料管に上部から約20%の高さの位置に亀裂が発生しているのを認め、燃料タンク内の燃料を消費して液面が燃料管の亀裂箇所より下がった際、亀裂箇所よりエアを吸い込んで燃料供給ができなくなり、船外機が停止したと判断した。</p> <p>本船は、約3年前に船舶所有者が購入して以降、燃料タンク内の点検が行われていなかった。</p>
分析	本船は、約3年間燃料タンク内の点検が行われていない中、船長が燃料タンク内の燃料管に亀裂が発生していることを知らずに航行を続けたことから、主機の燃料供給系統にエアを吸い込み、燃料供給ができなくなり、船外機が停止して運航不能となったものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が約3年間燃料タンク内の点検が行われて

	<p>いない中、船長が燃料タンク内の燃料管に亀裂が発生していることを知らずに航行を続けたため、主機の燃料供給系統にエアを吸い込み、燃料供給ができなくなり、船外機が停止したことにより発生したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 燃料タンク内の点検を定期的 to 実施し、燃料管等に異常を認めた場合は修理すること。